

【協力会社紹介】中央工軌有限会社

○当社のモットー

鉄道工事の「1+3」+1を確実に遂行し事故防止に努める。

○当社の課題

従事員の確保と、機械化を推進し従事員の労力軽減を図っていくことが急務と考えています。

○重点実施事項

確実な工事の完遂と無事故(労災・交通事故を含む)の継続。そのため、全てのルールの厳守が重点実施事項となります。



○若手育成の方針、進め方

若手育成の進め方としては、ハラスメント等に気を付けながら、ルールに関する教育と労働災害に関する注意点の教育を優先的に実施し、技術面での育成は慌てずに指導していく方針です。

○社長等のコメント

弊社は作業量に応じ従事員の数を調整しています。よって少数精鋭による無駄のない作業を行い、持てる力を100パーセント発揮して日夜頑張っています。

今年度は建設キャリアアップシステム、グリーンサイトの導入も行い、今後事務作業の軽減化も進めていきます。

〈トピックス〉

○主要工事

当社ではJR八戸新幹線保線技術センター管内の保守工事を請け負っています。3月には福島県沖地震災害の復旧工事に応援に行き、新幹線総括本部より感謝状を頂いております。

その他にも、各協力会社への助勤を積極的に行っています。

○安全大会

3月26日に安全大会を開催しました。KYT・立入時のケジメ・員数確認等の訓練を行い、社員全員で「安全作業の誓い」を宣言し、気持ちを引き締めました。

次回の安全大会は令和5年3月を予定しています。



○機械化への取り組み

バラスト突き固め作業において、八戸新幹線出張所の佐々木所長の計らいで、初めて軌陸BHを用いた作業を実施しました。

在来線と違い、導入にあたり様々な規制、課題がありますが、JR八戸新幹線保技セからは高評価を得ましたので、今後に向けてよい実績になったと思います。

また、レール面整正・スラブ低下などの作業では、使用する道具資材が多いため、作業時間の確保と労力の軽減化を目的に保守用車での資材運搬・移動を実施しました。こちらも十分に効率化・労力軽減が期待出来ることが分かりました。

上記2例については多くの規制やコスト面の課題があるものの、非常に良い結果が得られましたので、今後も仙建工業のサポートをいただきながら取り組んでいきたいと思っています。



〈職場のホープ紹介〉

○日和 寿人(ひわ かずと)50歳

平成31年に入社して4年経ちますが、柔道で鍛えた体と精神で重労働をこなし、日夜頑張っております。作業内容の吸収も早く、当社の未来には欠かせない人材の一人です。

《鉄道経験》 4年

《趣味》 釣り

《特技》 柔道

《抱負》 まだまだ軌道工事で分からない事がありますが、先輩方からいろいろ学び、早く若手を指導出来るようこれからも頑張ります。



○高森 大輝(たかもり だいき)20歳

令和3年入社で、軌道の仕事を始めたばかりですが、几帳面な性格で一つひとつ仕事を覚え、日々頑張っています。今後の当社の軌道業務に欠かせない1人になってもらいたいと考えています。

《鉄道経験》 1年

《趣味》 ゲーム

《特技》 柔道

《抱負》 いろいろな作業をこなし、早く一人前の軌道工になれるように頑張っていきたいと思っています。

会社の為家族の為、安全を大事にして参ります。

